

令和3年度一般会計予算

86億5,300万円

(前年度比 9,300万円の減)

「各世代が笑顔あふれるまちづくり」の実現に向けた主要事業7項目(継続含む)

1. 子育て支援分野 18億3,764万円 (前年度比 △3,518万円)

～未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくり～

- ・ GIGAスクール構想事業 518万円
- ・ 給食センター施設設備更新事業 2,462万円
- ・ 結婚新生活支援事業 600万円

一定の要件を満たす新婚のご夫婦いずれかの年齢が39歳以下であれば、30万円を上限に補助を行う。双方が29歳以下の場合は、上限を増額し60万円を上限に助成金を交付する。

2. 健康・福祉・社会保障分野 18億7,013万円 (前年度比 5,902万円増)

～健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり～

- ・ 公共施設感染症対策改修事業 9,912万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種等事業 4,148万円
- ・ 高齢者タクシー等利用助成事業 433万円

タクシーは6,000円を8,000円、バスは4,800円を6,400円に増額する。

3. 人権・男女共同・地域コミュニティ分野 2億948万円 (前年度比 2,499万円増)

～町民主体の地域コミュニティ豊かなまちづくり～

- ・ 中央公民館舞台照明更新事業 1,661万円
- ・ まつぶしガイドマップ作成事業 92万円

ガイドマップ部数は1万部。役場総務課をはじめ来庁者の多い課の窓口、役場ロビーなど、町内の公共施設に配置する。

4. 産業振興分野 1億3,232万円 (前年度比 16万円増)

～活気あふれるにぎわいのまちづくり～

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止補助事業 1,616万円
- ・ 中小企業等応援クーポン事業 3,111万円
- ・ カレーのまちづくり推進事業 100万円

カレーによるまちづくりの認知度の向上。登録店舗において、新たな顧客の獲得のきっかけ、あるいはコロナ禍で苦慮している店舗への応援、町の商業の振興を推進する。

5. 生活基盤整備分野 4億8,110万円（前年度比 456万円増）

～利便性の高い快適空間のまちづくり～

- ・町道6号線舗装整備事業（松伏高等学校前） 1,100万円
- ・町道3号線歩道整備事業（旧大川戸農村センター前） 19,356万円

6. 生活環境分野 12億8,675万円（前年度比 △1億3,622万円）

～安全・安心な暮らしのできるまちづくり～

- ・中間処理場整備事業 66,242万円
- ・防災情報通知システム導入事業 450万円
- ・小中学校受水槽給水栓設置事業 177万円
- ・防災倉庫整備事業 14,637万円

7. 行財政運営分野 11億1,100万円（前年度比 △1,301万円）

～効率的で質の高い町政運営を進めるまちづくり～

- ・情報系サーバー仮想化事業 1,434万円

討論（一般会計）

賛成(原案)

住民サービスの維持向上のため、自主財源の確保に努めることを要望する。ふるさと納税について、総意工夫、郷土愛を育む取組を望む。結婚新生活支援事業の開始で、転入増と定住化を期待する。子どもを産み育てる環境の整備が充実することを期待。

.....

中間処理場の令和4年度のオープンに向け、着実に整備が進められることを評価する。繰越明許により、公共施設のトイレ洋式化及び手洗い自動水栓化を実施することを評価する。

.....

災害対策本部の機能を備えた防災倉庫の整備は、町民の安心安全の要となるため大きく評価する。中学生学習支援事業は、将来に向け継続事業として充実させ、子どもたちの学力向上を図ることに期待する。

反対(原案)

法人町民税の不均一課税の導入が先送りされていることは問題がある。大きな公共事業は、財源が確保されているが、住民の生活基盤となる生活道路や排水路の事業は要望が多く寄せられているが、事業化されていない。高齢者の事業は大変貧弱だ。高齢者分野の事業、福祉充実は重要な課題、改善を求める。

.....

松伏町の大きな課題は人口減少。町民税が減少している。魅力的な町をつくっていくことが求められている。新たな市街地の拡大の方策を図るべき。道路予算が少なすぎる。